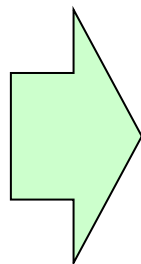


## 事業活動のマテリアルバランス

INPUTの項目	INPUTの数値
電力	8,059千kwh
都市ガス	98千m <sup>3</sup>
水道	23千m <sup>3</sup>
ガソリン・軽油	228千リットル



OUTPUTの項目	OUTPUTの数値
CO <sub>2</sub>	4,298t-CO <sub>2</sub>
産業廃棄物	246t
一般廃棄物	91t
排水	23千m <sup>3</sup>

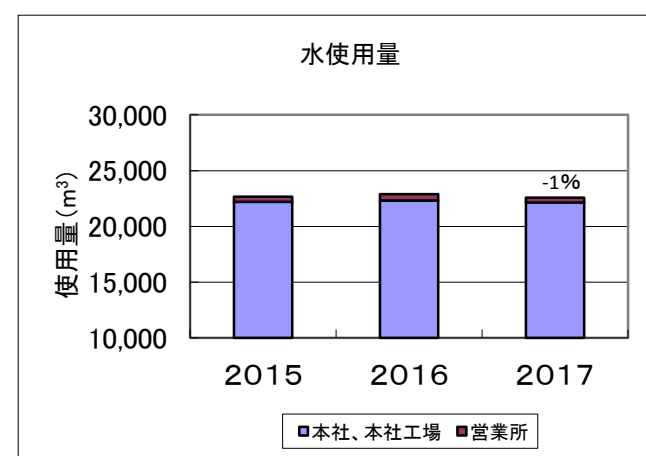
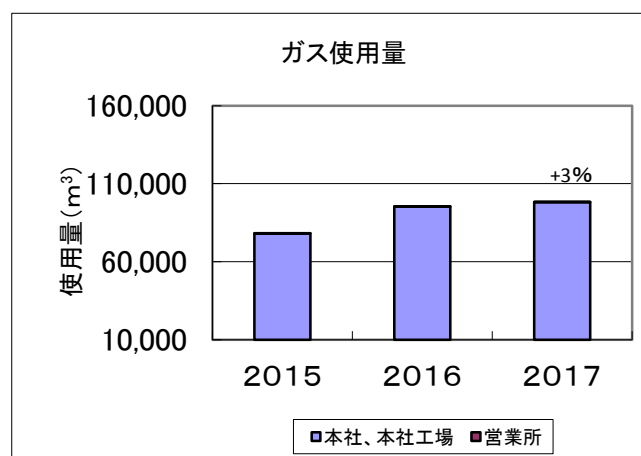
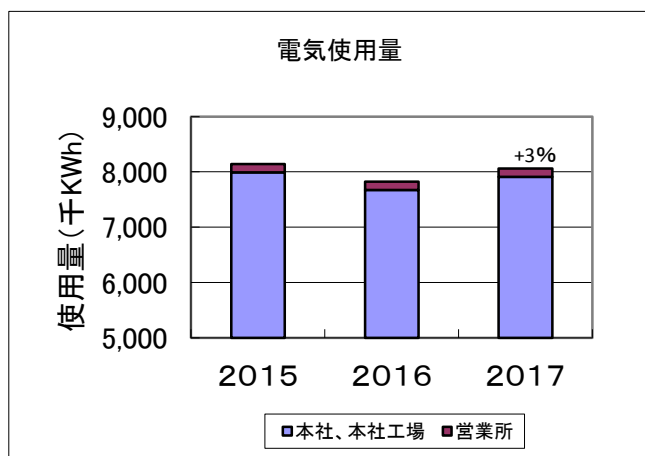
事業活動に伴って発生する環境負荷については、正しく把握すると共に、利用するエネルギーや資源を無駄にしないよう努めています。

※ このデータは2017年度本社及び本社工場ならびに営業所(札幌、東京、富山、大阪、福岡)です。

※CO<sub>2</sub>排出量には、環境省「温室効果ガス排出量の算定方法」代替値を使用した。

# グローブライド環境報告書(1)

		単位	2015	2016	2017
電気	本社、本社工場	千kWh	7,993	7,674	7,909
	営業所	千kWh	149	147	150
ガス	本社、本社工場	m <sup>3</sup>	78,033	95,274	98,195
	営業所	m <sup>3</sup>	4	3	3
水道	本社、本社工場	m <sup>3</sup>	22,204	22,312	22,156
	営業所	m <sup>3</sup>	456	581	421



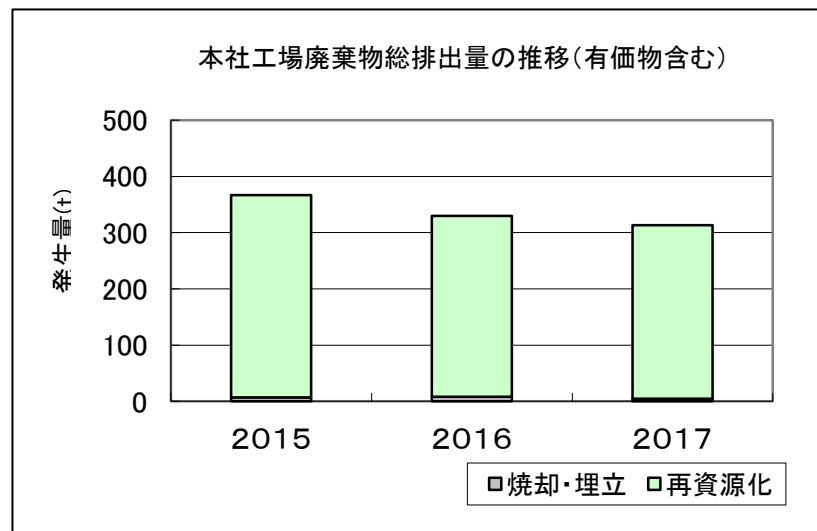
# グローバル環境報告書(2)

## 本社工場 廃棄物総排出量の推移(有価物含む)

(単位:t)

	2015	2016	2017
焼却・埋立	7	8	5
再資源化	360	322	308
再資源化率	98%	98%	98%

2003年度から単純焼却・単純埋立を限りなくゼロにすることを目標として『ゼロエミッションへの取り組み』を実施してまいりました。そして廃棄物の発生抑制や再資源化の委託先調査などを行った結果、2005年度にゼロエミッションを達成し、現在も維持しております。



### <ゼロエミッションの定義>

製造工程から発生する廃棄物の再資源化率を98%以上とする。

次のステップとして、オフィスを含む本社・本社工場から発生する廃棄物(産業廃棄物・事業系一般廃棄物)の再資源化率を98%以上にするゴミゼロ事業所に向け、ごみ分別の徹底に取り組んだ結果、2014年度の再資源化率は99%でした。

※ このデータは、本社及び本社工場から発生した廃棄物を集計したものです。